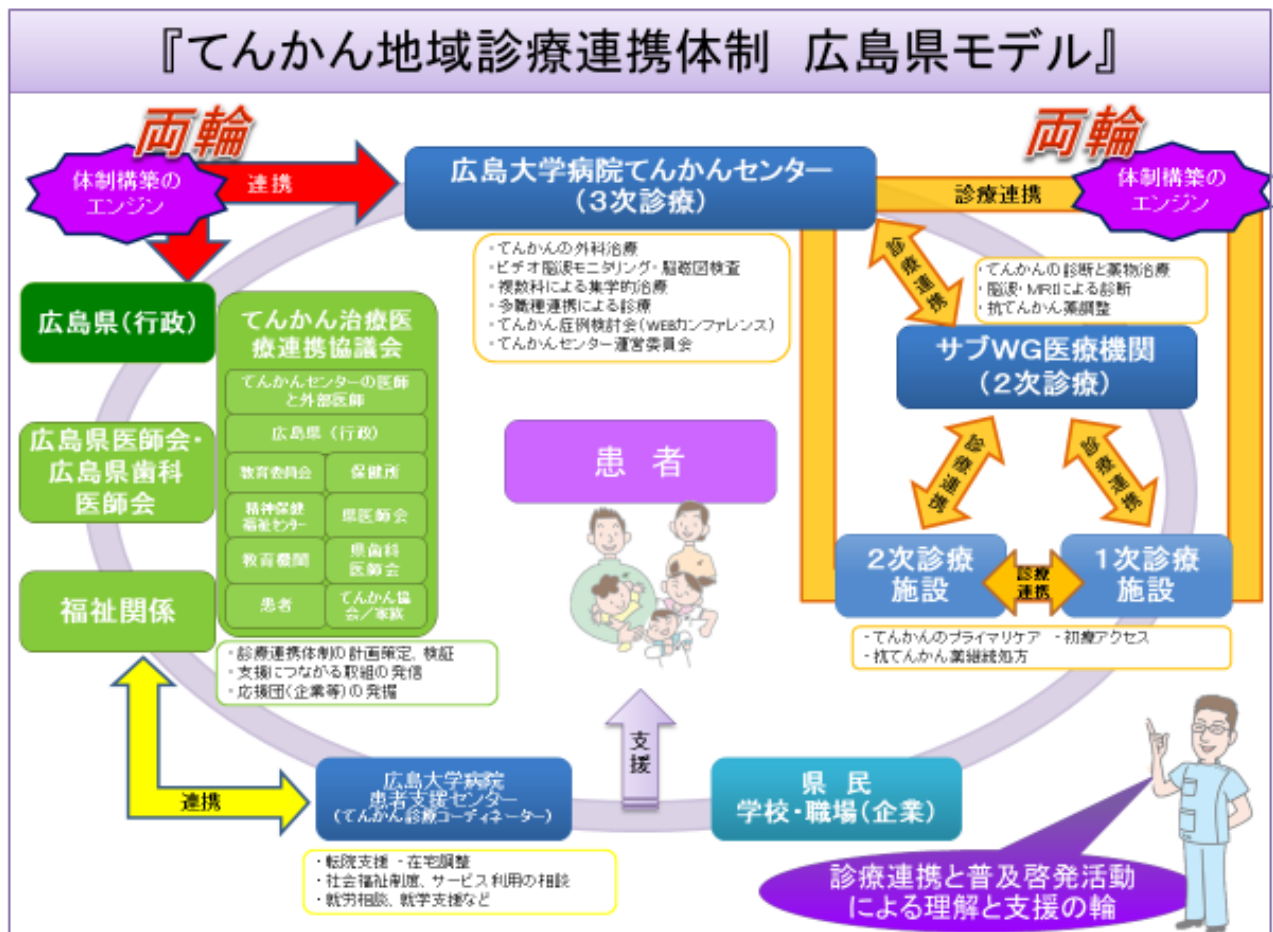


## 20. 広島県てんかん地域診療連携体制整備事業（令和2年度）

広島大学病院てんかんセンター 飯田 幸治

### まとめ

- ・てんかん治療医療連携協議会およびサブワーキンググループでは、引き続き診療連携体制の構築について検討を行っている。今年度はてんかん治療医療連携協議会に新たに広島県歯科医師会の参画があった。また、事業の効果の検証として、広島大学病院において平成27年（2015年）12月から5年間にわたり指標に基づくてんかん患者調査を継続して行っている。
- ・教育関係者向け研修会では特別支援学校に加えて一般小学校の養護教諭や教員にも対象を広げて研修を行ったほか、医師、看護師、救急医療関係者、臨床検査技師、福祉関係者など幅広い職種向けに研修会を開催し、てんかん疾患の正しい知識、最新情報を伝達しててんかん診療の質の向上および啓発を図った。  
研修の形式は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて対面で実施したほか、一部の研修会ではZoomによるLIVE同時配信を導入した。
- ・本事業推進の方向性を分かりやすく周知するために「広島県モデル」を作成し実施している。このモデルの特徴は、広島県（行政）と医療機関（特にサブワーキンググループ医療機関（2次診療））を体制構築のエンジンとして、患者を中心にこの両輪で多職種連携を回している点である。広島県（行政）からは普及啓発活動を県のSNSで広報するなど、患者支援につながる取組発信の協力を得ている。



## 1. 活動報告

### 1) てんかん治療医療連携協議会

てんかん治療医療連携協議会では事業計画の策定、事業効果の検証などを行っている。

委員数：15名

構成：医師5名（広島大学病院医師4名，外部医師1名），医師会1名，歯科医師会1名，てんかん患者1名，てんかん患者の家族1名，行政関係者5名，医療福祉大学関係者1名

開催回数：2回（R2/5/7 書面会議，R3/3/9 WEB会議）

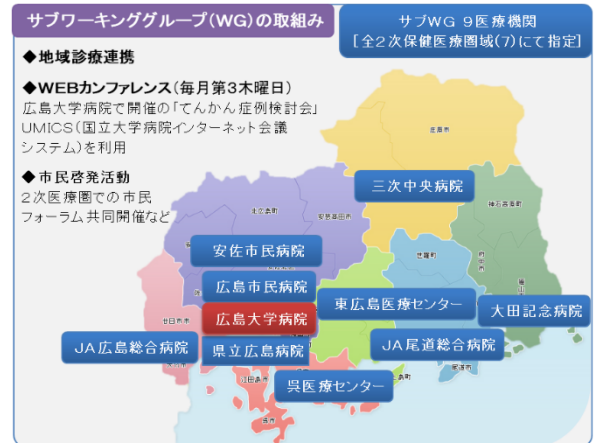
### 2) てんかん治療医療連携協議会サブワーキンググループ

サブワーキンググループではWEBカンファレンスでの症例検討，連携体制の仕組作りの検討を行っている。

委員数：13名

構成：広島大学病院医師4名，2次診療施設（全保健医療圏の中核となる医療機関）9名

開催回数：2回（R2/6/19 WEB会議，R3/2/9 WEB会議）



### 3) 遠隔てんかん症例検討会

UMICS（国立大学病院インターネット会議システム）

を利用して遠隔カンファレンスを行いサブワーキンググループ医療機関と広島大学病院との間で症例発表・検討を行うことで，てんかん診療のレベルアップとてんかん診療ネットワークの構築を図っている。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため，地域の連携医療機関はWEB参加が増加した。

R2/4月～R3/1月開催分 参加人数：計344名（広島大学152名，サブWG89名，その他医療機関103名），症例提示数：25症例

### 4) 研修会

#### ①教育関係者向け研修会

- ・てんかんを持つ児童の教育現場（特別支援学校）において，てんかん発作への適切な対応や最新治療法の情報共有を行うため広島県内の特別支援学校にて研修会を開催した。

開催回数：4回 参加人数：計173名

- ・一般小学校の養護教諭，障がい児専任加配保育士など保育関係者を対象として，てんかん発作への理解と適切な対応について研修会を開催した。

開催回数：2回 参加人数：計70名

※日本てんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー共催事業として，広島大学病院てんかんセンターおよび協議会委員から講師を派遣した。

#### ②医療・福祉関係者向け研修会

医師，看護師，臨床検査技師，救急医療関係者，介護職員，福祉関係者など各職種向けに，てんかんの基本，発作症状，てんかん疾患への理解と支援についてセミナーを開催した。

開催回数：4回（内1回WEB併催）参加人数：計298名（内LIVE視聴158名）

※日本てんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー共催事業として広島大学病院てんかんセンターから講師を派遣した。

○教育関係者向け研修会（日本でんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー）				
開催日	研修名	研修内容	対象者	参加人数
R2. 8. 4	広島県立黒瀬特別支援学校 てんかんセミナー	てんかんに関する理解と支援について	特別支援学校 教職員	81名
R2. 8. 5	広島県立呉特別支援学校江能分級 てんかんセミナー	てんかんに関する理解と支援について	特別支援学校 教職員	14名
R2. 8. 19	広島県立三原特別支援学校 てんかんセミナー	てんかんの様々な発作症状と正しい対応の仕方について	特別支援学校 教職員	46名
R2. 9. 29	広島県立庄原特別支援学校 てんかんセミナー	てんかんの様々な発作症状と正しい対応の仕方について	特別支援学校 教職員	32名
R2. 8. 21	一般小学校におけるてんかんセミナー	眼でみるてんかん発作 －理解と対応－	一般小学校 養護教諭・教員	30名
R3. 2. 18	保育関係者向けてんかんセミナー	こどものけいれんとてんかん －理解と対応－	福山市障がい児専任加配 保育士・保育指導課職員 など	40名 見込
○医療・福祉関係者向け研修会（日本でんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー）				
開催日	研修名	研修内容	対象者	参加人数
R2. 11. 28	柳井圏域地域自立支援協議会 てんかんセミナー	てんかんに関する理解と支援について	福祉関係者	47名
R2. 12. 5	救急医療関係者向けてんかんセミナー	救急医療に携わる方が知っておきたい「てんかん」の基本－ 発作症状から診る救急対応と病態の理解－	救命救急士・消防職員・ 医師・看護師	70名
R2. 12. 19	臨床検査技師向けてんかんセミナー	臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本	臨床検査技師	163名 (内LIVE 視聴158 名)
R3. 2. 16	介護職員向けてんかんセミナー	てんかんに関する理解と支援について	介護職員	18名

救急医療関係者向けてんかんセミナー  
救急医療に携わる方が知っておきたい「てんかん」の基本  
ー発作症状から診る救急対応と病態の理解ー

12.5 13:30～15:30 (開催日: 2022年12月5日)  
広島大学 会場 大会館2F

13:30- 開会式  
13:35- 講演1 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
14:05- 講演2 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
14:15- 講演3 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
14:30- 講演4 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
14:45- 講演5 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
15:10- 講演6 救急医療現場でのてんかん診療の現状と今後の展望  
15:30- 閉会式

参加費 無料  
定員 100名  
申込 11月20日(火)まで  
申込先 広島大学 大会館2F 大会議室  
電話 082-243-1111  
Web https://www.gsu.ac.jp/~gsk/kenkan/2022/1205/



12/5 救急医療関係者向け  
セミナーの様子

臨床検査技師向けてんかんセミナー  
検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本

12.19 13:30～15:30 (開催日: 2022年12月19日)  
広島県立総合医療センター 大会議室

13:30- 開会式  
13:35- 講演1 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
14:05- 講演2 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
14:15- 講演3 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
14:30- 講演4 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
14:45- 講演5 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
15:10- 講演6 臨床検査技師が知っておきたい「てんかん」の基本  
15:25- 閉会式

参加費 無料  
定員 100名  
申込 12月10日(土)まで  
申込先 広島県立総合医療センター 大会議室  
電話 082-243-1111  
Web https://www.gsk-kenkan.com/kenkan/2022/1219/



12/19 臨床検査技師向け  
セミナーの様子  
※WEB 併催

5) 普及啓発活動

①市民フォーラム

一般市民（地域住民）、てんかん患者その家族を対象に、専門医による最新治療法、難治性てんかんの治療、小児てんかんの特徴の紹介や質問へのアドバイスを行い、疾患に対する正しい理解と適切な治療を学ぶ機会として市民フォーラムを開催した。広島市での開催は来場に加えYouTubeによるLIVE同時配信を行った。

また、開催地を広島市内から地域へも広げ、2次保健医療圏域の東広島市においても開催を予定している。広島県の協力を得て県のSNSで広報される予定。

開催回数：広島市1回（11/1 WEB 併催）参加人数：202名（内LIVE視聴118名）

開催予定：2次医療圏（東広島市）1回 定員30名（R3/3/6）

②サンフレッチェ広島とのコラボレーション

市民フォーラム2020  
てんかんを考える  
～コロナ禍に向き合うために～

11/1 13:30～16:00 (開催日: 2020年11月1日)  
広島県医療会館 医療会ホール

参加費 無料  
定員 100名  
申込 10月20日(火)まで  
申込先 広島県医療会館 大会議室  
電話 082-243-1111  
Web https://www.gsk-kenkan.com/kenkan/2020/1101/

市民フォーラム  
てんかんを考える  
3/6 広島県

14:00～16:30 (開催日: 2023年3月6日)  
広島県市民文化センター 第2会議室

参加費 無料  
定員 100名  
申込 2月20日(土)まで  
申込先 広島県市民文化センター 大会議室  
電話 082-243-1111  
Web https://www.gsk-kenkan.com/kenkan/2023/0306/

サンフレコロラボバッジ



てんかん疾患に対する正しい理解を持ってもらうため、紫をチームカラーとするサンフレッチェ広島と広島大学病院てんかんセンターがコラボレーションして、てんかん疾患の啓発活動を行っている。

例年実施しているエディオンスタジアムでのボランティアによるチラシ配布などの活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は実施しないが、サンフレッチェ選手のてんかん啓発メッセージ動画を撮影し広島大学病院ホームページへ掲載する予定。



## 6) 事業の指標（てんかん患者調査）

地域のかかりつけ医（1次診療）から、専門医（2次診療）、地域診療において中核を担う3次診療の三者が連携し、患者が適切にてんかん診療を受けられるよう「てんかん診療ネットワーク」を構築することを目的に、広島大学病院において平成27年（2015年）12月から5年間にわたり指標に基づくてんかん患者調査を継続して行っている。

調査対象：てんかん病名（ICD10コード：G40, G41）がついた初診患者

調査方法：診療録の調査

調査期間：平成27年（2015年）12月1日～令和2年（2020年）11月30日初診分（5年間）

調査項目：患者属性、患者への対応方法、治療期間、他制度との連携、相談件数、相談への対応など23項目

事業効果の検証として、調査開始3ヶ月と直近3ヶ月のデータを比較すると、広島大学病院を受診する初診目的では、薬物調整の割合が4%から23%へ増加、難治性の割合が5%から16%へ増加していた。また、広島大学病院での治療を経て他の医療機関へつないだ（紹介した）割合が9%から38%へ増加、広島大学病院が従たる病院として治療中の割合が8%から15%へ増加していた。（※従たる病院とは、紹介元で薬物調整を行い広島大学病院へは定期的に通院している状況）

この結果から、広島大学病院がてんかん診療の拠点としての役割を担い、広島大学病院での治療を経て紹介元や他院へ紹介し、日常の治療はかかりつけ医で行い、広島大学病院（3次診療）で定期的にフォローするというてんかん診療ネットワークの構築が進んでいると考えられる。

## 2. 成果

今年度の成果としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により対面での研修会開催が困難な状況の中、感染防止対策を講じたうえで研修会を10回開催できたことである。一部の研修会ではWEB併催を導入し広島県外からの参加者も多くあった。

また、広島大学病院におけるてんかん患者調査を平成27年（2015年）12月から5年間にわたり継続しており、初診てんかん患者の治療経過など23項目を調査し事業効果の検証を行っている点も成果として挙げられる。

今後は、広島県におけるてんかん患者調査結果を活用して、1次・2次診療施設へと連携を拡大しててんかん診療連携をより強固な体制にすべく推し進めていきたい。